

戦争法案に反対です

平和が いちばん



「戦争法案」に対する市民投票が始まりました。「この憲法違反の法案は反対」と多くの市民の投票がありました。(6月7日 ビオルネ前)

2015年6月15日

第96号

平和で豊かな枚方を

市民みんなで作る会

現在国会で審議中の「安全保障法制案」は、海外で他国軍を後方支援する「国際平和支援法案」と、集団的自衛権の行使を可能にする武力攻撃事態法改正案などすでに法律10本を改正する「平和安全法制整備法案」から成っています。

「平和」の文字が付けられたこれらの法案は、成立すれば日本の事態に関係なく恒久的な海外派兵を可能にします。米軍や多国籍軍への兵站活動(後方支援)を可能にします。銃弾が飛び交っていないとされれば戦闘現場でも活動ができます。我が国の存立や国民の生命・自由の権利が危険だと判断されれば集団的自衛権行使=戦争を可能にします。首相ら数人が判断すれば武力行使が始められ国会承認は事後でよいとされています。これは「戦争法案」そのものです。

自衛隊員が海外へ出撃し他国民を殺傷する可能性が高まります。自衛隊員が殺される危険性もまた高まります。自衛隊員だけでなく私たちの市民生活にも大きく影響します。港湾・道路の軍事優先使用をはじめ、自治体の戦争協力義務や国民の協力義務の範囲も広がります。

この法案は現平和憲法を否定し全面改変するものです。国民の中で十分な議論がされないまま、憲法擁護の義務を負う政府が法律の制定のみで行うことは立憲主義に反しています。

「戦争は嫌だ」と当たり前声を上げましょう。また「よくわからないまま成立はダメ」「もっと議論を」など声もあげなければなりません。その声を市議会に、市長に、そして地元の国会議員に届けましょう。

投稿

美術館計画は白紙に 駒木根 淑子

昨年八月二十九日以来、抗議行動九ヶ月が過ぎた。

今の中央公園では、風雨にさらされ錆で劣化し始めた緑の「B型フェンスバリケード」なるものが、「アラカシの森」を取り囲み、子供たちの遊び場(小広場の半分を占領している。三月二〇日の早朝五時半に、森囲いのペグ打ちが寄附者大東氏の指令で始まって以来の光景だ。野球やサッカー、テニスのボールが時々ぶち当たり、バールと大きく不愉快な音をたてる。公園課への苦情で多いものは、東側の大広場でスポーツを楽しむ高齢者がトイレに行くのに、このB型フェンスの為に遠回りさせられるというものらしい。

選挙後の五月一二日、副市長二人・地域振興部長・土木部長と市民四人が面談。この場で初めて明らかになったこと、それは、中央公園一帯を「教育文化ゾーン」として一体整備する

ため、国交省から交付金を引き出すという案だった。

「図書館の改築に補助金を」という話は以前から耳にしていたが、美術館建設を大前提に、一体整備とは何事かと言いたい。勿論寄附である美術館が交付金の対象になるはずがない。しかし、図書館・集会所・保育所の一部を含む「教育文化ゾーン」に「お飾り」よろしく美術館を付け加えたわけだ。地域住民からの批判、反発は必至だ。幸いなことに申請はまだ出されていないし、九月議会まで申請することは出来ないことが明らかになった。

最近「夏休みが来てもこんな具合かな?」「冬休みの間、フェンスを取り外してくれたよね」と、大人たちから声が出始めた。少なくとも夏休み中、いや一日も早く本来の公園の姿に戻したい。今も地域住民の動きは絶えることがない。

5月19日 市議会開会 新しく選出された議員による最初の市議会。1日目は議長・副議長の選出。複数候補者による競争選挙になりそうだとの話もあったが、議長は大森議員（公明） 副議長は野村議員（連合市民）に無投票で決定。21日の2日目に、議員の常任委員会所属やその他の役職が決まる。私は文教委員を希望していたが、厚生委員しか空きがないと4度目の厚生委員。厚生委員は、福祉、医療、清掃など市民生活に密着した仕事。やりがいがあるが、仕事量が多いためか、人気のない委員会のような。これから、1年間、福祉の充実へ頑張る。さらに、枚方寝屋川消防組合議員になった。枚方から9名、寝屋川から7名の議員で構成されている。新消防本部庁舎の免震ゴムの強度不足の問題もある。十分なチェック機能を果たしたい。

5月23日～25日 絵本「アラカシのもり」原画展 会場は南部生涯学習市民センターロビー。のべ200人に立ち寄っていただいた。こぶしを振り上げて美術館建設反対を言うのではなく、森に生きるアラカシの思い、公園で遊んでいる子どもたちの思い、そして作者が寄せる思いがジーンと伝わってくる。自然と人とのつながりを考えられる。今後、市内各地で原画展が開催されるそうだ。多くの人の目に触れて欲しい。

5月28日 教育委員会へ要請行動 韓国からアジアの平和と歴史教育連帯共同運営委員長梁美康さんが、「近隣のアジア諸国との間に国際理解と国際協調の見地から必要な配慮がされていること」との教科書検定基準に基づいた「教科書の採択を求める要請書」を提出する行動に参加。今年は中学校の社会、公民などの教科書を定める年。日中韓 子どもたちの相互理解が進む教科書が採択されることを望む。

5月19日 5月分議員報酬から226,480円を大阪法務局に供託



こんにちは 松田久子です

その11回目

——放射能健康診断100万人署名運動

粘り強く頑張っています！——

福島県は、5月18日に福島第一原発事故による被ばくの影響をみる甲状腺検査で、今年1月から3月までに新たに16人が甲状腺がんと確定診断されたと発表しました。事故当時、18歳以下の子ども30万人弱の健康調査結果の公表です。そのうち103人が甲状腺の摘出手術で甲状腺がんと確定、その7割はリンパ腫や肺にも転移しているという重篤なものです。通常、甲状腺がんは100万人に1、2人の発生率で非常にまれながんとされています。

しかし、がんやがんの疑いがあるとされたのは、一巡目の検査（先行調査：2011～14年3月まで）で112人、二巡目の検査（本格調査：14年4月～16年3月まで続く）では現段階で15人、合わせて127人（内1人は良性と判定）となったと報告されています。そして、二巡目の検査でがんやがんの疑いと診断された

15人のうち14人は、一巡目の検査でA判定（異常なし）と診断されていました。

このような健康被害が毎回、報告されているにも関わらず、国や県は原因を原発事故の影響だとは認めていません。それどころか、原発の再稼働や、福島県への帰還政策を推し進めようとしています。

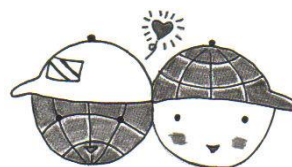
私たち「放射能健診100万人署名運動実行委員会」は毎週金曜日の夕方、枚方市駅前でも署名活動を行っています。また「五六市」などでも行っています。署名を集めて2年以上が経ちますが、まだまだ署名をしていない方に毎回出会い、協力していただいています。

現在、国に全国から131,351筆提出しています。枚方、交野地域からも11,195筆提出しました。今回は、7月31日提出に向けて更に、筆数を積みあげたいと思っています。今後とも署名への御支援、御協力よろしくお願ひし



平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 家高 憲三（元教育長）
 黒田 薫（平和都市枚方を考える市民の会）
 鈴木めぐみ（親と子のリズム遊び講師）
 奥村 秀二（弁護士）
 おおた幸世（枚方市平和無防備条例を実現する会）
 事務局長 手塚 隆寛（枚方市会議員）



塔本賢一さん作

〒573-1197

枚方市禁野本町

1-5-15-106

市民の広場“ひこばえ”

Tel&Fax072-849-1545

会費（年2000円）の振込をお願いします

